

第 8 回阿武隈川水系河川整備委員会

【議事概要】

日時：平成 24 年 9 月 14 日（金） 14:00～16:00

議 事

- (1) 阿武隈川水系河川整備計画の変更について
- (2) パブリックコメントの実施について

【主な意見の概要】

(1) 阿武隈川河川整備計画の変更について

意見

今回のように計画の見直しを行った場合には何年頃、何が起こって、何を見直したか等を記載したほうが良いのではないかと。変更の履歴がわかるように履歴を記載した方がよい。

意見

東北地方太平洋沖地震を受けての計画改正と合わせて、阿武隈川上流部における昨年 9 月台風 15 号に対する考え方を少し改めていくのが重要なポイントであると思う。

近年は洪水時の水位上昇スピードが速まっており、情報を伝達するだけでなく、情報伝達のスピードを上げて行くということが昨年の台風 15 号で得られた教訓であると思う。迅速性ということにも触れてはどうか。

意見

水の出方（水位上昇）が危険な方向になってきていることを、認識しているとわかるような表現があるとよい。

回答

河川の情報収集、提供等にかかわる事項として、素案に追記をしている。また、迅速性、情報提供の在り方については、より考えていかなければいけないと認識している。

意見

内水対策について、地震に伴う地盤沈下等と記載されているが、昨年の出水の様な想定外の出水も生じている現実を踏まえて、どのように対応するのか、今後の方向を記載すると良いのではないかと。

意見

「まちづくりと一体の減災対策」のところで、堤防整備を活かしたまちづくりとあるが理解が難しい。市町の復興計画との整合を図りながら、まちづくりと一体になった減災対策というふうに記述した方が解りやすい。

意見

河口部の堤防は具体的な堤防の高さがイメージできるように整備前後の堤防高の比較や、堤防かさ上げで、安全性が更にどの程度増加するのか分かるように、もう少し具体的な記述を入れたほうが良い。

回答

意見を踏まえて、事務局にて検討する。

質問

整備計画の対象期間が30年とあるが、それぞれの事業がどのように行われるかによって将来の整備状況が異なってくるのではないかと。

回答

個々の事業がどのように進んでいくかということは想定となるが、今回のように災害で事業が必要な箇所は優先的に事業を実施する。なお、整備状況に応じて優先順位も考えながら実施して行くこととしている。

質問

現時点での湧水の現状や対策等に関する記載について検討願いたい。

回答

湧水の対応については、地震後でも変わらず湧水の可能性があるので、変わらず対応していく姿勢であり、整備計画本文にも既に記載している。

質問

放射性物質に関連し、水辺の親水機能など慎重な対応を要する状況にあると思われる。国（環境省）が決めるべき方針が決まったら、それに合わせて対策を実施する等の注釈は記入した方が良いのではないかと。

回答

具体的な対応に関しては、環境省の除染関係ガイドライン等での対応になる。現時点では、河川に対しては、具体的な対応というものが無いので、現時点で整備計画には書き切れない段階であるが、これについては、工夫しながら、案を作成したいと考えている。

意見

堤防高が変わることによって堤防用地が広がるので、特に亘理町で現在地に居住地が形成される範囲では、街づくりとの連携には十分な意見交換を行って欲しい。

意見

堤防質的整備、内水対策等これまでの事業の効果を改めて感じており、各委員の意見により計画をより良い物にして、整備計画を確実に実施していただきたい。

意見

岩沼市で質的整備を行った堤防が、地震時の避難場所になった。このような事業の効果を、整備計画の中にも記載した方がよい。

意見

整備計画原案の初めに、地震に伴う変更をしたと記載されており、結語の部分にも変更したことを受け、力強く対応するなど、もう少し記載した方がよい。

回答

指摘を踏まえて、事務局にて対応案を検討する。

(2) パブリックコメントの実施について

意見

リーフレットの「防災教育への支援等」に該当する文章は「防災教育への支援を実施します」とした方が具体的である。

回答

指摘を踏まえて、リーフレットの文章を訂正する。

質問

亘理町荒浜における住民への意見聴取はどのように実施するのか。

回答

意見聴取の実施については、亘理町を通じて、しかるべき場所にPR出来るよう調整を行っている。